



【結果報告】「外来生物を学ぶ展示会」を行いました（池田動物園 2011 年 5 月 22 日）

侵略的外来生物（※）の影響によって、国内に生育・生息する生物の多様性が脅かされており、人々の生活にまで被害が及んでいます。そこで、より多くの方に外来生物問題を知っていただくために、「国際生物多様性の日」である 5 月 22 日に、岡山市の池田動物園で外来生物に関する展示と解説を行いました。

園内では、アライグマ、ヌートリア、オオクチバスの剥製やアルゼンチンアリの模型を展示し、解説を行いました。これらの生物は生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼす（おそれがある）ものとして、国によって特定外来生物に指定されています。



○ヌートリアについて

岡山県はヌートリアの捕獲数が全国の中で多く、農作物への被害が報告されています。

香川県への上陸の報告があり、分布域の拡大が懸念され、対策が必要となっています。

○アライグマ・オオクチバスについて

アライグマやオオクチバスの被害（農作物への被害、在来魚の捕食）は多くの地域で報告されています。中国・四国地域でも被害情報が寄せられています。

子どもたちもアライグマ・オオクチバスに興味津々でした。



○アルゼンチンアリについて

アルゼンチンアリは圧倒的な繁殖力と人の体を這い回る不快害虫として知られています。現在中国地方で生息が確認されているのは広島・山口県ですが、今後は更なる分布域の拡大が懸念されています。



○紙芝居の上映

子どもたちに外来生物について興味を持っていただけるよう、沖縄島・奄美大島に定着しているマングース（特定外来生物）の紙芝居を上映しました。マングースは絶滅危惧種を含む他種多様な生物を補食するため、対策が進められています。

40cm 近いアルゼンチンアリの模型（本物は 3mm 程度）に驚かれる方や、複雑な思いでオオクチバスを見つめる釣り好きの方、剥製のスケッチをとる方、解説のポスターをじっくり読みこむ方など、多くの方々が立ち寄ってくださいました。今回の取組は、外来生物の現状を身近な問題として認識していただける良い機会となりました。

※侵略的外来生物とは

外来種（もともとその地域にいなかったのに、人間の活動によって他の地域から入ってきた生物）の中で、地域の自然環境に大きな影響を与え、生物多様性を脅かすおそれのあるもの。

参考 URL

外来生物法：<http://www.env.go.jp/nature/intro/>

生物多様性 HP：<http://www.biodic.go.jp/biodiversity/>

展示会に来てくれた皆さん





足を運んでくれた皆さんや池田動物園スタッフの方々等のおかげで、楽しい展示会にすることができました。

今回のイベントを期に、少しでも外来生物問題に関心を持っていただけると嬉しいです。